

〈小学校 国語 解説〉

設問 1

1 解説

趣旨

ことわざの意味を理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1)ア 伝統的な言語文化に関する事項

(イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号		解答類型	正答	
1	—	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	◎
		4	4 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

1の「失敗は成功のもと」とは、「失敗すればその原因を反省し、方法や欠点を改めるので、かえってこの後の成功につながることになる」という意味である。

2の「石の上にも三年」とは、「物事は辛くとも根気よく続ければ、最後にはきっと成功する」という意味であり、「辛抱強く同じことを続けること」である。

3の「七転び八起き」とは、「七度転んで八度立ち上がるという意味から、多くの失敗にもめげず、その度に勇気をふるって立ち上がる」意味である。「浮き沈みの多い人生」のたとえとしても使われる。

4の「二度あることは三度ある」とは、「物事は繰り返し起こる傾向があるものだから、失敗を重ねないように」という戒めを表すことわざである。

このことから、「何度失敗してもちよう戦する」という意味を表す正答は、選択肢3である。

2 学習指導に当たって

○ ことわざの意味や使い方を正しく理解し、日常生活で使うことができるようにする

ことわざの意味や使い方を正しく理解するためには、国語辞典やことわざ辞典等を日常的に活用できるように指導することが大切である。特に、辞書利用について学習する第3学年の段階から意図的、計画的に指導する必要がある。

具体的には、本や文章の中で使われていることわざを集め、辞書等を用いてその意味や用例等を調べた上で、そのことわざを適切に用いた文を作ったり、かるたを作成するなどの学習が考えられる。その際、中・高学年児童が低学年の児童とかるた遊びをしながら、ことわざの意味や用例等について、低学年の児童に分かりやすく説明する学習を行うことも考えられる。また、スピーチや日記等で、ことわざを用いて表現する学習等に取り組むことが考えられる。

設問 1 二

1 解説

趣旨

話し手の意図を捉えながら聞き、目的に応じて、情報を関係付けて考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

話す・聞く能力

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
1	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【メモカード】と【記事】に書かれている内容にふれて書いている。 ② 浅野さんをどんな人だと思ふかについて、自分の考えを書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、80字以上、100字以内で書いている。	
		(正答例) (「わたしは、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) ・ C・③ 浅野さんは人から信じられる人だと思います。それは、安田善次郎さんが浅野さんに、東京わんのうめ立て工事でお金を助けているからです。浅野さんのうでと度きょうが信じられたのだなと感じました。(100字) ・ E・⑥ 浅野さんは東京わんに工業地帯をつくる計画を練っただけでなく、富山県に工業地帯をつくったりダム式発電所を建てたりしたので、富山を甞てんさせた人だと思います。ふるさとを愛していると感じました。(100字)	
		1 条件①、②、③を満たしているもの	◎
		2 条件①、②は満たしているが、③は満たしていないもの	
		3 条件①は満たしているが、条件②を満たしていないもの * 条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ・ E・⑥ 浅野さんは、県の西部に工業地帯をつくったり、ダム式発電所を建てたりした人だと思います。また、東京わんに設備の整った工業地帯をつくりたいと計画を練った人です。(84字) ※ 浅野さんについて、自分の考えを記述していない例	

4	<p>条件②は満たしているが、条件①を満たしていないもの  * 条件③を満たしているかどうかは不問とする。  (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>E・⑥</b> 浅野さんは、ふるさとの発てんを願っていた人だと思います。高岡と伏木の間には運河をほって工業地帯をつくったり、ダム式発電所を建てたりして、富山県を大切にしていると思いました。(91字)  * <b>【メモカード】</b>からのみ記述している例</li> <li>・ <b>B・④</b> 浅野さんは、つぎつぎに事業を成功させた人だと思います。赤字続きのセメント工場の利益を、五年間で五倍に増やしました。ふ通の人にはまねができないと感じました。(83字)  * <b>【記事】</b>からのみ記述している例</li> </ul>
9	上記以外の解答
0	無解答

## 2 学習指導に当たって

### ○ 目的や意図に応じて、情報を関係付けて話し合うことができるようにする

各教科等の学習や日常生活においては、課題を解決するために様々な情報を収集して考えをまとめる場面が多い。その際、目的に応じて、情報を関係付けることが大切である。関係付けるとは、共通点や相違点に着目して比較したり、相反するものを並べて対照したり、共通項を見付けてまとめたり、観点を設けて分類したりすることである。

授業においては、話し合いの目的に沿って、互いの立場や意図をはっきりとさせ、考えの違いを大事にするとともに、多くの考えを関係付けながら話し合いを進めていくことができるように指導することが必要である。

情報を関係付けながら整理・分類する際には、例えば、次のような方法が考えられる。

#### ○ カードで整理・分析する

集めた情報をカードに書き出す。同じ情報のカードを重ねながら分類して、まとまりごとにタイトルを付ける。

#### ○ 座標軸で整理・分析する

座標軸の視点を決め、付箋紙に情報を書いて、当てはまるエリアに貼り付け、整理する。

#### ○ メリット・デメリットの視点で整理・分析する

集めた情報について、メリットとデメリットの両面から吟味し、表に整理する。

#### ○ ベン図で整理する

異なる立場からの情報をベン図を用いて整理することで、共通点や相違点を明らかにする。